Let's enjoy!



©eSchool 2021 モマン

なまえ

たしざんをしましょう。

9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

たしざんをしましょう。

$$5 + 9 = 4$$
 $5 + 9 = 4$
 $5 + 9 = 7$
 $7 + 9 = 8$
 $8 + 9 = 9$
 $9 + 9 = 8$

7 | 0 | 1 | 12 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8

なまえ

線でむすびましょう。

住めば

都 都

損して

高みの

得取れ・

大は

立て板に





なまえ

線でむすびましょう。

たい大は

損して

高みの

住めば

立て板に













なまえ

線でむすびましょう。

立て板に水

住めば都

大はかを兼ねる

意みの見物

損して得取れ

すらすらと話すね



どんなところでも住み慣れ たところはいいなあ



大きい方が使い鐘が広いね



気楽にことの成り行きを見



今は損しても、将来の大き な得につながるよ



なまえ

線でむすびましょう。

住めば都

大は 大は 小を兼ねる

意みの見物

損して得取れ

立て板に水

大きいものの方が使い道が広い。

自発のわずかな利益でなく将来の 発きな利益を得るようにしよう。



すらすらと話すこと。



どんなところでも住み慣れた ところは良いところだ。



気楽な立場でなりゆきを ながめること。



なまえ

かけざんをしましょう。

$$| 0 \times | 0 =$$

$$| | \times | | =$$

$$|2 \times |2 =$$

$$|3 \times |3 =$$

$$|4 \times |4 =$$

100 121 144 169 196

かけざんをしましょう。

$$|3 \times |3 =$$

$$|4 \times |4 =$$

$$15 \times 15 =$$

$$| 6 \times | 6 =$$



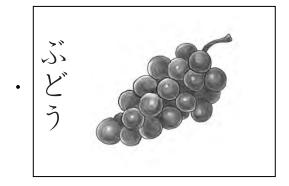
 $25 \times 25 =$

169 196 225 256 625

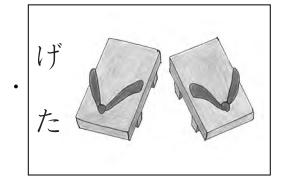
なまえ

線でむすびましょう。

一镇.



いっそく



ひとふき



かぞえうた

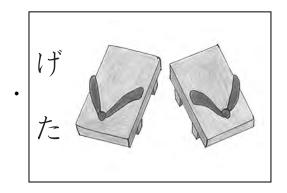
なまえ

線でむすびましょう。

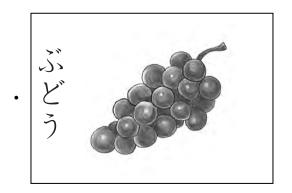
一足!



いちりよう一領



ひとふき



なまえ

線でむすびましょう。

冬龍り



ふゆばち冬蜂の



みずどり水鳥の



なまえ

線でむすびましょう。

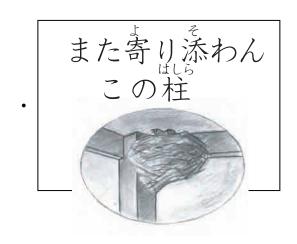
みずどり水鳥の



冬龍り



ふゆばち冬蜂の



なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

のはし	またよりそわん	らかきしい
	\mathcal{O}	たは、いそかはん

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

村ならか	るも	しにどころな	らがはちの
村上鬼城	さけ	なく	
城よう	(1)		

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

上島鬼貫	うさいけり	おもたくみえて	みずと
鬼間	() ()		

なまえ

はじめからおわりまで、進みましょう。





↓ おわり 1 星は星でも食べられるすっぱい星はなあに?

うめほし

2 お願いごとをする星はなあに?

ながれれまし

1 せんたくものがいっぱいある^{ほし}はなあ に?

ものほし

2 だしがよくとれる星はなあに?

してはし

なまえ

線でむすびましょう。

毀誉:



港土:



終始



なまえ

線でむすびましょう。

けんど ちょうらい 捲土重来・



きよほうへん野誉褒貶

ほめたり、けなしたり。勝手だね。

という しいっかん 終始一貫



モマン 12 - 21)

なまえ

線でむすびましょう。

とゆう しいっかん



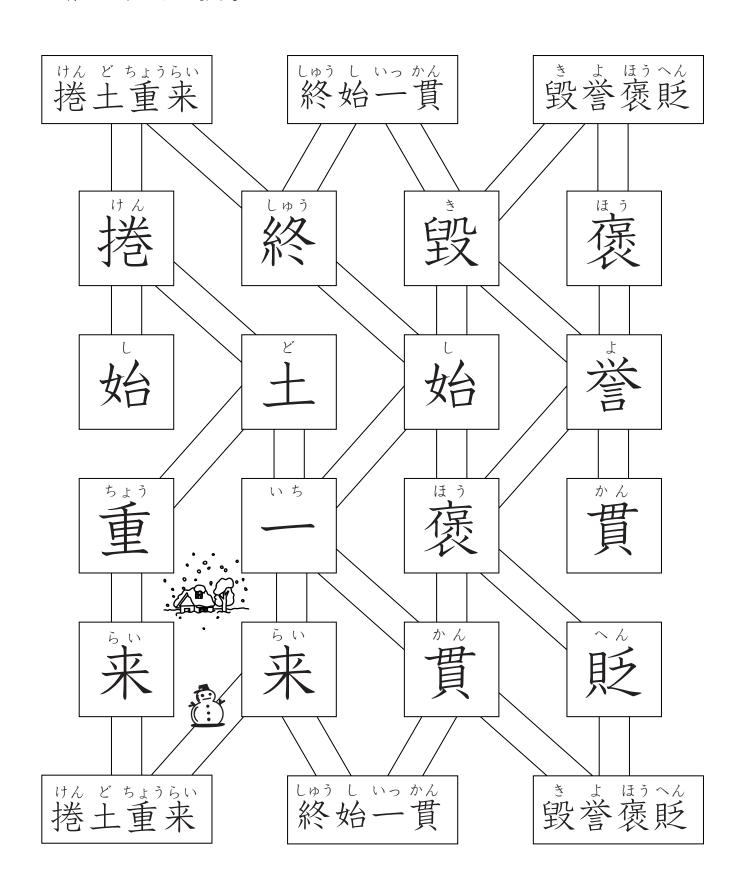
きよほうへん 毀誉褒貶



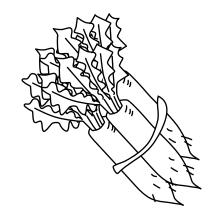
けんど ちょうらい 捲土重来



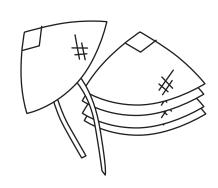
線でむすびましょう。



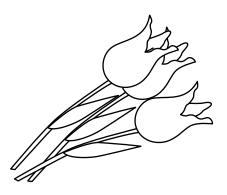
おじいさんは町へ何を売りに行きましたか?



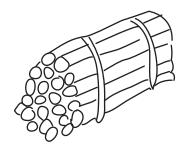
やさい



かさ

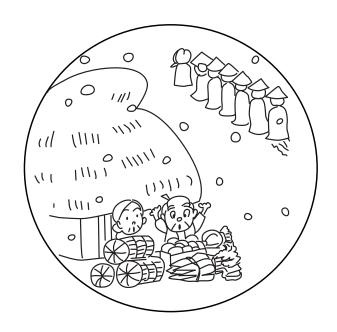


はな



たきぎ

お地蔵様に笠をかぶせてあげたおじいさんの話を聞いて、おばあさんはどう思いましたか?



- 1 それはもったいないことをしましたね。
- 2 それはいいことをしましたね。
- 3 なにもなくなって、こまりましたね。

©eSchool 2021 おはなし

なまえ

線でむすびましょう。

さびしさに 宿を立ち出でてながむれば がこも同じ 秋の夕暮れ

吹くからに 秋の草木のしをるれば むべ山風を



かぜ 風そよぐ ならの小川の 夕暮れは ♥ みそぎぞ夏の しるしなりける

きに聞く たかしの浜の あだ波は

☆ かけじや袖の 濡れもこそすれ

©eSchool 2021

百人一首

なまえ

線でむすびましょう。

吹くからに

***の草木のしをるれば

さびしさに 宿を立ち出でてながむれば むべ山風を 覧といふらむ

かぜ 風そよぐ ならの小川の 夕暮れは

かけじや袖の 濡れもこそすれ

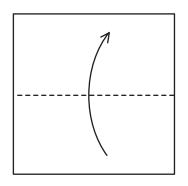
きに聞く たかしの浜のあだ波は みそぎぞ夏のしるしなりける

©eSchool 2021

百人一首

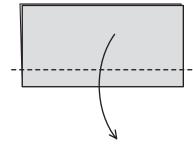
なまえ

《えんとつのあるいえ》

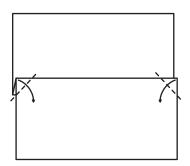


1 はんぶんに おる



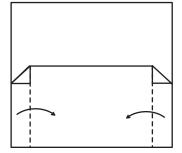


2 おりせんの ぶぶんから すこし のこして ひらく

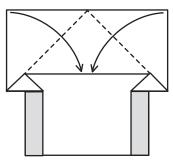


3 りょうはしを おって さんかくを つくる



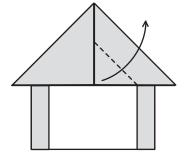


さんかくを ひきだすように りょうはしを たにおりにする

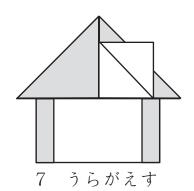






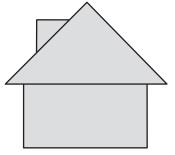


うえの しかくの りょうはしを 6 5でおった さんかくの かたほう を すこしだけ たにおりにする



さんかくに おりあわせる





えんとつのあるいえの かんせい

5